

少年サッカー新人戦 市民タイムス・カガミ杯

アンテ 粘って頂点つかむ



先制のループシュートを放つアンテロープの内川(右)



選手宣誓するアンテロープの池田主将

猛攻にさらされたが、我儘強く勝利を引き寄せた。

準決勝で2得点し、決勝でも活躍したアンテロープの鈴木優が最優秀選手に輝いた。優秀選手には、決勝で同点ゴールを挙げた佐久市サッカースポーツ少年団の神津鈴央が選ばれた。

30日の結果

(赤羽啓司)

▽準々決勝	佐久市 1-0	ちの川
戸上 4-0	リガール	
アンテロ 1-1	上田	
代		
PK 3-1		
フォルツ 2-0	ウィーク	
ス		
▽準決勝	佐久市 4-1	戸上
アンテロ 2-0	フォルツ	
1-0	ア	
▽3位決勝戦	フォルツ 2-1	戸上
フォルツ		
▽決勝	アンテロ 2-1	佐久市



しっかりとプレーを見ながらフラッグを上げる松田さん(中央)

高校生審判大会支える

県ヶ丘1年 松田航亮さん

決勝では、4級審判員の松本県ヶ丘高校1年・松田航亮さん(16)が副審を務めた。準々決勝で敗れたチーム同士のフレンドリーマッチでは主審を担い「審判としてサッカープレーヤーを支えられてよかった」と笑顔を見せた。

松本市の明善中学校在学時に4級の資格を得た。高校で選手としてはサッカーを離れたが、中学の恩師の勧めで審判の道に。昇級試験を受けている最中で、来年には実技試験が控える。「審判の様子を動画に撮ってもらった。悪い点を直したい」。小学生の選手同様に、今大会の経験を糧に技術向上に意欲を見せる。

最優秀選手

鈴木 優 (アンテロープ)

「...チームのみんながいたから優勝できた。試合では焦って変な方向にボールを蹴ってしまうこともあったので、もう少し冷静にプレーしたい。これからも明るく楽しいチームの一員として楽しくサッカーをしていきたい。」

優秀選手

神津 鈴央 (佐久市)

「...決勝で点を取られてすぐに取り返したプレーが良かった。今年他大会でも決勝で負けることが多く、優勝できなかったのは悔しい。団結力のあるチームなので、個人の能力を上げられるように毎日を大事にしたい。」

第39回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミ杯は30日、アンテロープ塩尻の4年ぶり3回目の優勝で閉幕した。

アンテロープは決勝の前半13分、内川夢大が相手ゴール前でクリアに藤森大輝が走り込み、相手GKらと交錯するも抜け出し決勝点を挙げた。試合序盤は

30日の試合開始前に行われた開会式で、アンテロープの池田陽紀主将が「練習してきたことを全て出し切り、最後の1分、1秒まで全力で戦い切る」と宣誓した。松本市サッカースポーツ少年団連合



準優勝の佐久市サッカースポーツ少年団



3位のフォルツア松本